

いいものは残し、いいものは継続

園長 小島 澄人

タケノコを食べたい。みんなクラスで食べていない？

年長の先生たちより、こんな質問を受けました。全クラスで一緒に食べたいようです。「おっ、いいこと！是非やりましょう」。即決しました。毎年みんなでたけのこご飯、実は何年も密かにやってみたかったことでした。早速お米を買いに行きました。釜、かまどを準備し、お米にタケノコを事前に掘ったものをゆでてかき回し、器に入れて運びました。ホールには年長さん 6 クラスが輪になって楽しみに待っています。弁当もあります、けどおかわり、おかわりの連続です。私までお椀に 4 杯もいただきました。本当に美味しかったです。新しいクラス、新たなお友だちが増える時期に、輪になって旬のタケノコをいただくのもいいですね。

さくらんぼに網を掛けました。ナポレオンが何本かありますが、網を掛けないと小鳥にすぐ食べられてしまいます。さあ、今年は子どもたち、いただけますでしょうか。

今年から始めるイベントがいっぱいあります。水曜日を使って、未就園児に体験の機会を設けました。ジャガイモ掘り、大根の間引き、サツマイモ掘り、大根掘り、そしてミカン狩りを計画しています。6 月 24 日(水)にジャガイモ掘りがあります。未就園児に限りますが、在園児の弟妹ばかりではありません。勿論、子どもたちもどちらも体験しますが、楽しみです。

子どもたちは夏野菜を植えました。キュウリ、ナス、とまと、ピーマンを全クラスで植えました。およそ、30 株の畑が出来ました。保育もやりながら、時折、野菜を育て、いただく、素敵な体験です。秋に収穫するお米ももう苗づくりをします。

文を入力していると、子どもたちがそばに来ました。早速、サクランボを収穫したようで、私も 10 個食べましたが、とても美味しかったです。

子どもたちの楽しい保育、自然の中でのいろんな体験、はち切れそうな笑顔、それを皆さんに知らせようと、46 年前から「柿の実新聞」を出し、写真付きでした。保育を回って写真を撮っていましたが、今はありません。子どもの写真は気軽にとれなくなり、新聞もやめました。

連休が続きますが、子どもたちがいなくなり、幼稚園も寂しいです。